

「猪苗代湖に注ぐ長瀬川の河原の石はなぜ赤いのか―河川の水に含まれる鉄の量と酸性の強さの影響について―」

郡山市立郡山第二中学校科学部  
○優秀賞

「よみがえれ公園の野鳥―うつりかわる野鳥の実態を探る―」

郡山市立郡山第三中学校科学部  
「ノゴギリクワガタのつめの形状と落下の関係」

浪江町立浪江中学校理科部  
——高等学校の部——

個人研究の部  
○最優秀賞

「原町市の生活系排水の生物学的水質判定」

県立相馬農業高等学校三年  
桑折知浩

○優秀賞

「身近にある食べ物や環境における放射線の測定」

県立白河実業高等学校一年  
塩田秀隆

「水中を浮力で上昇する球状物体の運動について」

県立新地高等学校二年  
長澤峰之  
共同研究の部

○最優秀賞  
「葉の浸出液による六価クロムの除去効果」

県立保原高等学校化学部  
○優秀賞

「ドジョウの飼育水中に大豆を入れると、ドジョウを長く飼育することができるか」

県立相馬高等学校生物部  
「県北地方の酸性雨及び窒素酸化物の調査」

県立福島高等学校天文部  
◇国際理解国際交流論文 朝河貫一賞

中学校の部——  
○最優秀賞

「国際人への第一歩」

いわき市立内郷第一中学校三年  
矢部史子

○優秀賞  
「郷土理解こそ国際理解への第一歩」

北塩原村立裏磐梯中学校三年  
熊野右実

「国際交流について」

浪江町立東中学校三年  
上田公彦

「『心と心のふれあい』って何ですか？」

棚倉町立棚倉中学校三年  
藤田新一郎

「小さなこと」

白河市立白河第二中学校二年  
清水千恵子

「国際社会における日本人の生き方」

原町市立原町第二中学校三年  
齋藤希有

——高等学校の部——  
○最優秀賞

「日本人として」

県立安積高等学校三年  
山見修平

○優秀賞  
「国際社会における日本の役割」

県立喜多方商業高等学校二年  
山内義和

「二十一世紀を目前にして思うこと」

県立福島南高等学校一年  
佐藤加奈子

平成四年度福島県公立幼稚園・小・中・盲・聾・養護学校職員研究論文の入賞者が決まり、去る十二月二日(水)に、特選入賞者の表彰式が行われました。

本年度は、昨年度より三点多い八十二名の応募がありました。

論文は、各教育事務所、義務教育課による審査を経て、県教育委員会委員の審査委員の先生方による慎重な審査の結果、特に優れた論文として特選四点と、入選八点が選ばれました。特選及び入選の受賞者は次のとおりです。

○特選  
平田村立蓬田小学校教諭

川崎 潤

川俣町立川俣南小学校教諭

福士寛樹

磐梯町立磐梯中学校教諭

福士寛樹

福士寛樹

「アメリカ留学体験から国際交流を考える」

県立磐城女子高等学校三年  
半沢多津子

「コミュニケーションと国際化」

県立白河高等学校二年  
本宮幸治

「日本人と外国人との共生の道」

県立会津女子高等学校三年  
長峯宣子

○入選  
川俣町立川俣中学校教諭

瀧沢玲子

郡山市立金透小学校  
瀧沢玲子

(代表) 校長 大河内宏通

郡山市立片平小学校教諭

齋藤吉成

会津坂下町立片門小学校教諭

高野祥司

霊山町立掛田小学校教諭

石本浩一

いわき市立赤井小学校教諭

野木勝弘

福島市立鎌田小学校教諭

青木信夫

榎枝岐村立榎枝岐中学校教諭

佐藤昌彦

榎口 亨

棚倉町立近津幼稚園教頭

陣野洋子